

公益社団法人 日本水産学会
令和5年度第6回理事会議事録

1 開催された日時 令和5年11月11日(土)13時00分～16時43分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数

総数20名、定足数10名

4 出席理事総数 19名

(Web会議システムによる出席)

東海 正、廣野育生、佐野元彦、落合芳博、小島隆人、河村知彦、
大嶋雄治、古川史也、マーシー・ワイルダー、蒲原 聡、木村暢夫、
栗田 豊、奥村卓二、澤田好史、有瀧真人、吉田照豊、
潮 秀樹(第3号議案審議中13時07分から13時31分まで退席)、
山下 洋(第3号議案審議中13時07分から13時31分まで退席)、
中田 薫(第3号議案審議中13時25分に着席)

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

佐藤秀一、野澤知世、
良永知義(第3号議案審議中13時25分に着席)

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

神尾道也、小糸智子、加藤豪司、
森田哲朗(第3号議案審議中13時25分に着席)

7 議案

決議事項

- | | |
|--------|--|
| 第1号議案 | 「会費免除承認」の件 |
| 第2号議案 | 「水産利用懇話会委員会委員の交代」の件 |
| 第3号議案 | 「令和5年度日本水産学会各賞受賞者の決定」の件 |
| 第4号議案 | 「令和5年度学会賞・論文賞授賞式の日程、場所及び開催方法」の件 |
| 第5号議案 | 「令和6年度秋季大会の日程」の件 |
| 第6号議案 | 「Fisheries Science 90巻における会員販売促進の継続」の件 |
| 第7号議案 | 「日本水産学会誌90巻における会員販売促進の継続」の件 |
| 第8号議案 | 「令和6年度日本農学会運営委員の選出」の件 |
| 第9号議案 | 「入会承認」の件 |
| 第10号議案 | 「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件 |

報告事項

- ①第5回理事会以降の職務執行の状況
- ②その他確認事項

8 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

東海会長が、定足数の充足、及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第 29 条に基づき、東海会長が議長となり、本会議の成立及び Web 会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「会費免除承認」 の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 2 号議案 「水産利用懇話会委員会委員の交代」 の件 (別紙 1)

潮担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

[辞任] 川端康之 [選出] 杉原憲治

第 3 号議案 「令和 5 年度日本水産学会各賞受賞者の決定」 の件

大嶋学会賞担当理事から、原案について説明があった。また、東海会長から、米山和良氏の題目中に「技術」が二つあるので重複を解消し「画像処理を適用した魚体計測技術の開発と養殖業への導入」に変更することが提案された。審議の結果、出席理事全員一致で以下の通り可決した。

日本水産学会賞

潮 秀樹 「魚介類の代謝機能の解明と食品化学的応用」

益田玲爾 「水産資源生物の行動生態学的研究」

日本水産学会功績賞

虫明敬一 「栽培漁業における親魚養成技術の体系化と養殖種苗生産への適用に関する一連の研究」

山下 洋 「沿岸魚介類の初期生態と成育場利用に関する研究」

水産学進歩賞

井上 晶 「高機能アルギン酸分解酵素の発見とそれを利用した有用褐藻類の機能タンパク質に関する生化学的研究」

西川哲也 「養殖海苔色落ち原因珪藻の大量発生機構と植物プランクトン群集の長期変動に関する研究」

細谷 将 「養殖魚のゲノム選抜育種に関する研究」

水産学奨励賞

板倉 光 「ウナギ属魚類の生態解明と保全に関する研究」

松井英明 「微細藻類を起点とした仔魚への効果的な ω 3 脂肪酸供給システムの構築に関する研究」

水産学技術賞

米山和良 「画像処理を適用した魚体計測技術の開発と養殖業への導入」

坪井潤一 「カワウの繁殖抑制対策等を用いた内水面の漁業資源保全に関する技術」

第4号議案「令和5年度学会賞・論文賞授賞式の日程、場所及び開催方法」の件

潮総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、次の通り開催することを出席理事全員一致で可決した。

日 程：令和6年3月28日

場 所：東京海洋大学品川キャンパス（春季大会会場）

開催方法：対面

第5号議案「令和6年度秋季大会の日程」の件

澤田近畿支部担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、次の通り開催することを出席理事全員一致で可決した。

日 程：令和6年9月24日～27日

第6号議案「Fisheries Science 90巻における会員販売促進の継続」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。続いて、東海会長から、Springerとの現在の契約に従えばこの会員に販売する冊子の購入には相当の学会負担が生じていること、並びに今年度も購入希望がなかったことから、この販売促進を取りやめることが提案された。審議の結果、出席理事全員一致でこの販売促進を取りやめることを可決した。

第7号議案「日本水産学会誌90巻における会員販売促進の継続」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。続いて、東海会長から学会誌配布規程に則り原案の送料に関する箇所の変更が提案された。審議の結果、出席理事全員一致で原案を一部修正のうえで可決した。

第8号議案「令和6年度日本農学会運営委員の選出」の件

潮総務担当理事から、原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

[選出] 小山 寛喜（海洋大）

第9号議案「入会承認」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第10号議案「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件

潮総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

（報告事項）

①第5回理事会以降の職務執行状況

・会長

東海会長から、以下の報告があった。

- 1) 韓国水産科学会の招待により、11月3日に韓国の水産関係の6学会が合同で開催している韓国水産科学総連合 KOSFAS の国際シンポジウムにて基調講演を行い、各学会の会長らと交流を行った。
- 2) 11月16・17日に鹿児島県で全国水産試験場長会全国大会が開かれるので会長として参加する予定である。
- 3) 水産・海洋科学連絡協議会について、12月15日に日本学術会議公開シンポジウム

「水産海洋分野における AI の役割」が開催される。

・庶務関係

潮担当理事から、以下の報告があった。

- 1) 令和 6・7 年度支部幹事が選挙により選出された。
- 2) 学会事務職員の期末手当について支払い手続きを進めている。
- 3) 以下の協賛 1 件について、「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」を適用して承認した。

①海洋調査技術学会第 35 回研究成果発表会

主 催 海洋調査技術学会

協 賛 海中海底工学フォーラム・ZERO 他 18 学協会

日 程 令和 5 年 11 月 7 日・8 日

場 所 東京海洋大学 85 周年記念会館（東京都江東区）

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

廣野担当理事から 11 月 8 日に委員会が開催された事の報告があった。

・財務関係

小島理事 特になし。

・編集関係

落合担当理事から 12 月 25 日に委員会が開かれ、日水誌に高校生から投稿があった場合にも投稿規程通り扱うべきであるとの結論に至ったが、会費設定を含めジュニア会員を作ることについても今後検討していくべきだとの意見も出たとの報告があった。

・学会賞関係

大嶋担当理事 特になし。

・シンポジウム関係

河村担当理事から資料をもとに以下の報告があった。

- 1) 令和 6 年度春季大会におけるミニシンポジウム企画について新規 2 件「水圏動物の「賢さ」から水産学への展開を探る」と「水圏生物の行動解析～水産分野における難題へのチャレンジ～」が承認された。
- 2) 令和 5 年度秋季大会におけるミニシンポジウム「東北地方太平洋岸におけるヤリイカ研究:近年の研究成果と安定的利用に向けた課題」と「野生水産生物における集団ゲノミクス」について参加者数などの報告があった。

・出版関係

山下担当理事 特になし。

・水産技術誌監修関係

有瀧担当理事から、令和 5 年度第一回水産技術誌監修委員会を 1 月 17 日に開催することが決定したこと、および水産技術誌第 16 巻の 1 号が発刊に向けて準備中であることの報告があった。

・国際交流関係

佐野担当理事から、11 月 2 日・3 日に開催された韓国水産科学会に水産学若手の会から推薦のあった方と会長が共に参加したことの報告があった。

- ・水産教育関係

東海会長から、12月9日に「海とさかな」自由研究・作品コンクールの授賞式があり、中田副会長に代理出席を依頼してあることが報告された。
- ・水産政策関係

東海会長 特になし。
- ・漁業・資源管理関係

小島担当理事から、漁業懇話会委員会が令和6年度日本水産学会春季大会中の3月27日に講演会「定置網漁業における数量管理と選択漁獲技術」の開催を企画中であることの報告があった。
- ・水産利用関係

落合担当理事から、11月24日に第2回委員会と第1回講演会「水産における培養肉」が開催されることの報告があった。
- ・水産増殖関係

佐野担当理事 特になし。
- ・水圏環境関係

大嶋担当理事から、令和6年度日本水産学会春季大会で気候変動についてのシンポジウムを企画中であることの報告があった。
- ・男女共同参画関係

中田担当理事 特になし。
- ・水産学若手の会関係

廣野担当理事から、若手研究者向けに国際学会参加の支援の募集をHPで開始した。
- ・社会連携関係

木村担当理事 特になし。
- ・将来計画関係

山下担当理事から、7月に開催した理事会主催シンポジウムの報告記事を日本水産学会誌に掲載する準備を進めていることの報告があった。
- ・北海道支部、地域連携関係

木村担当理事から、令和5年10月6日にWebで幹事会を行い令和6年1月20日に北海道支部会（総会・一般研究報告会）を北海道大学創成研究機構（札幌）で開催することが決定したことの報告があった。
- ・東北支部、地域連携関係

栗田担当理事から、10月27日に水産高校の生徒による研究発表会東北地区大会に参加し支部長奨励賞（1件）を授与したことの報告があった。
- ・関東支部、地域連携関係

東海会長から、支部幹事の選挙を行ったことの報告があった。
- ・中部支部、地域連携関係

奥村担当理事から、支部幹事選挙を行ったことおよび支部大会を12月9日に三重大学で開催する予定で準備中であることの報告があった。
- ・近畿支部、地域連携関係

澤田担当理事から、9月26日に第1回支部例会を近畿大学奈良キャンパスで高校生は交通費を負担させないようにWeb参加、他は対面で要旨集は作らずに開催したこと、

社会連携推進のために研究紹介・相談会を設定したところ、発表が県漁連から 1 題、公的研究機関から 1 題、高校から 4 題、大学生から 1 題あり、活発な意見交換が行われ共同研究が 2 件成立したことの報告があった。また、12 月 2 日の支部後期例会を近畿大学で開催し、特別講演と研究発表を実施する予定で高校生は Web 参加とする予定であるとの報告があった。

・中国・四国支部、地域連携関係

有瀧担当理事から、支部大会を令和 5 年 12 月 16 日・17 日に対面で開催する予定であり、準備していることの報告があった。

・九州支部、地域連携関係

吉田担当理事から、支部総会と研究発表会を 12 月 9 日・10 日に対面で開催する予定であり、研究発表の募集中である旨の報告があった。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

山下担当理事 e-水産学シリーズや水産学シリーズをもとに Springer 発行の英文書籍を作るための覚書を行政書士に相談しながら作成を進めており、恒星社厚生閣への確認を進めていることの報告があった。

・財務検討委員会（特別委員会）

小島担当理事 特になし。

・その他

蒲原理事から、11 月 26・27 日の全国水産試験場長会全国会議への会長参加をよろしくお願ひしたいとの依頼があった。

マーシー理事 特になし。

古川理事 特になし。

廣野理事から、イギリス諸島水産学会に派遣参加した壁谷会員から、Journal of Fish Biology の Board member を 2 人紹介してほしいと依頼を受けていることの報告があった。条件は mid early carrier 中堅・若手の人であり well establish professor は不可である。また、来年の 3 月にシアトルで開催される世界水産学会議（WFC）に日本水産学会代表として佐藤監事に参加をお願いするとの報告があった。

②その他確認事項

(1) 事業計画・予算書及び事業報告・決算報告の提出日程について

潮総務担当理事から、事業計画・予算書および事業報告・決算報告の提出日程について説明があり、締切りを厳守するよう要請があった。

(2) 引継ぎ事項

潮総務担当理事から、理事交代に伴い業務の引継ぎ事項をまとめて事務局へ提出するよう要請があった、また各支部については、業務の引継ぎを確実にを行うように要請があった。

(3) 次回の理事会について

廣野総務担当理事から、次回の理事会は令和 6 年 2 月 3 日（土）13 時から Web 会議システムにて開催するとの説明があった。

以上をもって Web 会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、14 時 43 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和5年11月11日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事